

2018年度 日本文化人類学会
第3回理事会 議事録

日時：2018年7月14日（土）14：00～17：00

会場：東京外国語大学本郷サテライト 5階セミナールーム

<出席者>清水展、綾部真雄、石田慎一郎、川田牧人、木村周平、栗田博之、曾我亨、棚橋訓、中谷文美、森山工、箭内匡

<委任状提出者>赤堀雅幸、飯田卓、石井美保、伊藤泰信、風間計博、亀井伸孝、窪田幸子、佐々木重洋、高倉浩樹、速水洋子、松村圭一郎、森田敦郎

〔承認事項〕

1. 2018年度第2回理事会議事録（案）
2. 2018年度第2回評議員会議事録（案）
3. 2018年度総会議事録（案）
4. 新入会員（8名）につき、総務会で入会を承認したことを報告し、事後承認。
5. 西日本を中心に大きな被害を出した平成30年7月豪雨について総務会で情報収集を行うこと、JASCA-INFO 配信については総務会に一任することを承認。

〔報告事項〕

1. 会長報告
 - ・第52回研究大会が無事終了したこと、総会で会長に選任されたことを報告。
2. 庶務理事報告
 - ・法人化手続きのために、印鑑証明の再提出等を依頼したことを報告。
 - ・第8回三島海雲学術賞に関して、学会推薦候補者の受付が締め切れ、今後応募者の選考を行った上で推薦することを報告。
3. 総務理事報告
 - ・人類学関連学会協議会合同シンポジウムに出席したこと、2019年度は本学会が企画運営を担当することを報告。
4. 広報理事報告
 - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき5件のJASCA-INFO 配信を行ったことを報告。うちGEAHSSからのアンケート依頼については総務会で確認の上、配信を行ったことを報告。
5. 各種委員会報告
 - ・『文化人類学』編集委員会：83巻2号の進捗状況について報告。
 - ・JRCA編集委員会：次号の編集の進捗状況と、過去に国際研究集会発表旅費助成を受けた会員からの投稿状況、表紙デザインの変更について業者との折衝を進めること、学会奨励賞論文を著者自身が英訳したものや、既にWCAAのオンライン・ジャーナル *Deja Lu* に掲載されている奨励賞受賞論文をJRCAに掲載していく予定であることを報告。
 - ・法人化対応委員会：法人設立に向けた準備状況について次の点を報告。
 - 1) 総会以降、骨子に関わらない部分で2点修正を行ったことを報告（理事を「3名以上」とする変更、および設立時代議員の任期を設定する条項の追加）。
 - 2) 税務署で法人への財産の移行、税金等について相談を行ったことを報告。
 - 3) 口座の移行について各銀行で確認したことを報告。
 - 4) 法人への加入を希望しない会員にJASCA-INFO と郵送でその旨の連絡を要請する通知を行った結果、数名から連絡があったこと、法人への加入を希望しない会員への年度内のサービス提供等の対応については総務会で検討の上対応することを報告。
 - ・「国際情報発信強化」特別委員会：次世代育成国際研究集会発表助成の応募を締め切ったこと、例年通りの手順で審査を行うことを報告。
 - ・国際化グローバル化対応委員会：小泉潤二会員がIUAES会長に、窪田幸子理事が同副会長に選出されたことを報告。

- ・課題研究懇談会担当委員会：欠席の森田理事に代わり木村理事より、新規課題研究懇談会「敏待の人類学」の役員構成、規約、事業計画が提出されたことを報告。
- ・研究大会運営検討委員会：第52回研究大会から第53回研究大会への引き継ぎを7月15日に行ったこと、理事会と開催校の業務の仕分けと費用配分等については今後検討予定であることを報告。第1回、第2回サーキュラーについては大会実施委員会に一任することを確認。
- ・地区研究懇談会：各地区の研究會開催状況、開催予定を報告。川田理事より、各地区懇談会担当理事の業務を含め、事業の拡大に伴い理事の負担が増加しているため、総務会を中心に事業及び理事業務のスリム化を検討中であることが報告された。
- ・学会賞選考委員会：選任された委員へ委嘱状の発送を行ったことを報告。
- ・文化人類学教育委員会：全国大学院生協議会よりアンケート依頼があり、JASCA-NETで配信したことを報告。

〔審議事項〕

1. J-STAGEのBIB形式およびSGML形式のアップロード機能の廃止について
 - ・栗田理事より、J-STAGEへのアップロードに関して、従来のデータ形式の廃止および今後のデータ形式に関する変更届提出依頼が科学技術振興機構（JST）から届いたことが報告され、必要となる経費等を勘案して、現時点ではWeb掲載を選択して申請することが提案され、意見交換の結果、承認された。今後、研究大会発表要旨集の公開にあたって、J-STAGEの利用やアップロード作業手順等について検討が必要であることを確認した。
2. 朝日賞の学会推薦について
 - ・木村理事より、2018年度朝日賞の候補者推薦依頼を受けたことが報告され、審議の結果、学会推薦を行うことが承認された。候補者については総務会原案が承認された。
3. 民博シンポジウムの学会後援について
 - ・欠席の風間理事に代わり木村理事より、国立民族学博物館主催シンポジウム「ミュージアムの未来—人類学的パースペクティブ」について（2018年9月28日開催）の後援依頼が届いたことが報告され、審議の結果、後援が承認された。
4. その他
 - ・川田理事より、本学会が開催担当となる2019年度人類学関連学会協議会の合同シンポジウムについて、テーマは「身体と運動」とし、第53回研究大会第1日目に開催する方向で検討中であることが報告され、審議の結果、承認された。人選について提案があれば、川田理事へ連絡することとした。
 - ・清水会長より、法人化に伴う事務局室の契約更新の件について、現在の事務局室賃借に至る経緯と現状把握を行ったことが報告された。
 - ・第4回理事会は2018年9月30日（日）14：00～於首都大学東京秋葉原サテライト。

以上